
「筋層浸潤性膀胱癌に対するゲムシタビン・シスプラチン・デュルバルマブ併用療法（GC-Dur 療法）の有効性および安全性に関する後ろ向き観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 1 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、筋層浸潤性膀胱癌と診断され、ゲムシタビン・シスプラチン・デュルバルマブ併用療法を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

筋層浸潤性膀胱癌に対する周術期治療として、ゲムシタビン・シスプラチン・デュルバルマブ併用療法（GC-Dur 療法）が新たな標準治療として導入されています。しかし、本邦における実臨床での治療成績や安全性に関する報告はまだ十分ではありません。

本研究では、当院で GC-Dur 療法を受けられた患者さんの診療情報を後ろ向きに解析し、治療の有効性、安全性および病学的治療効果について検討することを目的としています。得られた結果は、今後の診療の質の向上や、より適切な治療選択に役立てることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028 年 03 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 09 月 04 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる情報について

1. 情報の内容

年齢、性別、既往歴、検査結果、病理所見、治療内容、有害事象、手術内容、術後経過、再発の

有無、転帰など、通常診療で得られた診療情報を利用します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である北山沙知が、個人が特定できないように加工し適切な安全管理措置を講じて厳重に管理します。

2. 情報の取得方法

筋層浸潤性膀胱癌と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

泌尿器科 講師 北山 沙知

TEL：049-228-3673（直通）（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：筋層浸潤性膀胱癌に対するゲムシタビン・シスプラチン・デュルバルマブ併用療法（GC-Dur 療法）の有効性および安全性に関する後ろ向き観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 北山沙知